

# 国語力は人間力

## <学びのスタミナづくり>

小さく見えることを「国語力の育成」の視点でみていく。

小さく見えていたことが「国語力の基礎」の要素になっている

小さく見えていたことが「国語力は人間力」と生きる力になっている

### 1) 学校の言語生活を整え人間力育てる

- ①挨拶の指導を繰り返し学校生活の基礎を育てる
- ②敬称「さん」で呼び「はい」と答える指導を積み上げる
- ③敬語とりわけ丁寧語を使える子どもに育てる

### 2) 言語力を育てる人間力の基礎を育てる

- ①「適切に表現する」を大事にする
- ②「言葉を大切にする」という子ども
- ③聞く力、話す力を生きた場で育てる

### 3) 言語力の育成で学校の日常を正す

- ①言葉を正しく使うことの大事さに気づかせる
- ②出来事を、言葉を育てるという面から捉える
- ③自分本位な言い分を相互理解へ導く学級の話し合い
- ④言語力が生活場面で生きることを理解し尊敬できる人間関係を育てる

### 4) 言語力と学校経営・学習づくり・学習力（具体的展開）

#### ①教育目標と教育活動の一体化

- （全校で毎週行う音読集会・定期的に行うノート検定
- ・月一回言語力検定・手本を視写する鉛筆で綴る音読詩
- ・親・子と教師日記（※算数理科の音読）

#### ②国語力と教科の授業

- ・概念を文章化する豊富な語彙力（社会）・問いの内容理解と考え方の正しい表現（算数）
- ・観察・愛着・語彙を大事にした科学する心（理科）
- ・感じ取ったことや聴き取ったことを文章に書き残す（音楽）

動きを表す言葉が使える（体育）

自分の体調について責任をもって伝える（保健屋）

<育てたい子どもの姿>

**「丁寧」をキーワードにして生活できる力を持っている子**